

# “映画祭”

の

in 39アート

# 映画祭!

3月6日(土)-14日(日)

墨田区京島キラキラ橋商店街。  
古き良き時代にタイムスリップしたような  
懐かしく、ほっと落ち着く風景が広がるこの町に、  
小さな小さな映画館が誕生します。  
本オープンに先駆けて「“映画祭”の映画祭！」を開催。  
国内外の個性あふれる映画祭で上映された  
選りすぐりの作品を特別上映します。



**映画の主人公が  
町にやって来る!**

**ロングランヒット中の  
「ライブテープ」上映決定!**

主人公のミュージシャン・  
前野健太さんのギターパフォーマンス  
in キラキラ橋商店街。

**スペシャルトーク  
「ビール片手に井戸端会議」**

日本全国の映画祭から  
ゲストを迎えて、ぶっちゃけトーク。

※詳細は裏面へ


# 映画館 OPEN

in 墨東・京島

会 場：橋館(墨田区京島3-21-9)

旧「墨東まち見世2009ロビー」  
キラキラ橋商店街交番斜め前

主 催：橋館実行委員会

協 力：アサヒビール株式会社   
一般社団法人墨田区観光協会

<http://tachibanakan.blog13.fc2.com/>

問合せ：tachibanakan@gmail.com

橋館

検索



39アートとは

毎年、3月9日をアートの記念日として各地でイベントを実施。10回目を迎える今年は、「橋館」のある墨田区北部の「墨東エリア」でも3月9日前後の期間中、さまざまなイベントが開催されます。

# “映画祭”の映画祭!



## 上映作品

イベント付き上映以外は500円!



©2009 Tip Top

### 『ライブテープ』(2009年 / 日本 / 74分)

監督:松江哲明

2009年、元日。東京・吉祥寺。初詣でにぎわう武蔵野八幡宮で、突如ギターをかき鳴らし歌い始めるミュージシャン・前野健太。吉祥寺の街の中を歌いながら歩き、井の頭公園で待ち構えていたバンドメンバーと合流するまでの全16曲を74分ノーカットで記録した異色のライブドキュメント。祖母、父、友人を相次いで亡くした監督、「生きていかなきゃねー」と歌う前野、そして街ゆく人々の姿。歌詞と街並みがシンクロし、いくつもの人生の断片が重なり合う。現在ロングランヒット上映中。

■東京国際映画祭(2009年、「日本映画・ある視点部門」作品賞受賞) 他で上映

■3月6日(土)13:00~ ※上映後、イベント有り



©YAZAKI HITOSHI GROUP

### 『三月のライオン』(1991年 / 日本 / 118分)

監督:矢崎仁司

記憶喪失で入院中の兄を、古びたビルの一室へ連れ出す妹。兄のことがずっと好きだった妹は、自分を恋人だとウソをつき、ぎこちない二人の生活が始まる。やがて兄は少しずつ、記憶を取り戻していきが……。各国の国際映画祭で上映され、93年ベルギー、オランダで一般公開、オランダの「Skrien」誌で年間ベスト3に選ばれた話題作。監督の最新作、江國香織の小説を映画化した『スイートリトルライズ』が3月に公開。

■ベルリン国際映画祭(1991年)、東京国際映画祭(1991年)、ロッテルダム国際映画祭(1992年) 他で上映

■3月7日(日)15:00~ ※上映後、イベント有り

3月13日(土)18:00~



UNIVERSITY OF TELEVISION AND FILM MUNICH ©2007

### 『ユリ 愛するについて』(2008年 / ドイツ / 64分)

監督:東美恵子

瀬戸内海に浮かぶ離島で、24歳のユリと72歳の“おっちゃん”が恋に落ちて、結婚を約束する……。その衝撃的な愛の軌跡を5年間にわたって撮影したドキュメンタリー。キラキラ光る穏やかな波のように二人の間をさまよいながら、カメラを通して「愛するとは?」と問いかける。監督はユリの友人で、現在、ドイツ国立ミュンヘンテレビ映画大学在学中。本作でミュンヘン市主催の映画新人賞を受賞。最新作は広島を舞台にした日独合作映画『アウグスト』(独語で「8月」の意味)。国際的な活躍が期待される注目の新人。

■山形国際ドキュメンタリー映画祭(2009年、市民賞受賞) 他で上映

■3月6日(土)18:00~、3月14日(日)13:00~



©日中韓共同・横浜開港150周年記念映画製作委員会

### 『3つの港の物語』(2007年 / 中国・韓国・日本 / 105分)

監督:リ・ファジュン(青島編「Fish&Bird」) / 監督:キム・ヒョジュン(仁川編「鯉魚(ろうぎょ)と月」) / 監督:渡辺紘文(横濱編「棧橋」)

横浜開港150周年を記念し、日中韓の映画学校の学生が「港」をテーマに競作。漁船の船長だった老人の海への愛着と、町へ移住しようとする息子夫婦への不満、孫への愛情を叙情的に描いた『Fish&Bird』、事故の後遺症が残る兄の世話をしながら小さな刺身屋を営む妹、二人のちょっと悲しい家族愛を描いた『鯉魚と月』、棧橋にたえずおむろ人と若い女性記者の交流を通して反戦へのメッセージを込めた『棧橋』、次世代を担う若手作家による三部作。

■横濱学生映画祭(2009年)で上映

■3月7日(日)19:00~

3月14日(土)16:00~ ※上映後、イベント有り

# EVENT

※時間などは変更の可能性があります。最新情報は、HPをご覧ください。

## オープニングイベント 『ライブテープ』 3/6

in キラキラ橋商店街

映画上映後、主演のミュージシャン・前野健太さんがキラキラ橋商店街をギター片手に歌いながら歩きます。前野さんと一緒に商店街を練り歩きますか?ライブ終了後は松江監督を交えて、街と映画と音楽について語り合うトークイベントを行います。

■3月6日(土)上映後15:00頃~

①1,500円(映画、ライブ、トークイベント、ワンドリンク付き)

## アフタートーク 3/7

with

『三月のライオン』  
矢崎仁司監督

■3月7日(土)上映後17:00頃~

①1,000円(映画、トークイベント、ワンドリンク付き)

## スペシャルトーク 3/13

『ビール片手に井戸端会議』

国内の個性あふれる映画祭からスペシャルゲストを迎えて、「映画祭の魅力って?」「墨東エリアで映画祭をやるなら?」などをテーマに語り合います。

■3月13日(土)15:00~16:30

■場所:キラキラ会館(橋館より 徒歩30秒)  
①無料(ワンドリンク付き)

## アフタートーク 3/14

with

『3つの港の物語』  
渡辺紘文監督

■3月14日(日)上映後18:00頃~

①500円(映画、トークイベント、ワンドリンク付き)

## コトニシタシニシタシ 橋館とは

かつて、この町にはいくつもの映画館がありました。

一つの商店街に銭湯と小さな映画館。これらは人々が集う場所でした。

大正期には隅田川のほとりに日活向島撮影所があり、

京島にも高松プロダクションの撮影所があったなど映画とゆかりの深い土地でもありました。

しかし、現在、墨東エリア\*には一つの映画館も残っていません。

キラキラ橋商店街にあった橋館は昭和41年に焼失しましたが、

地元の人は今でも親しみを込めて「橋館通り」と呼んでいます。

映画好きも、地元の人も、みんなが集い、みんなで笑って、

映画を観たあとは、商店街や路地裏を散策したり、喫茶店や居酒屋でワイワイ語り合う……。

そんなあたたかく、活気のある空間を「新・橋館」は目指します。

\*墨東エリアとは、隅田川と荒川、そして新タワー(東京スカイツリー)のすぐ横を流れる北十間川によって囲まれた、墨田区の北半分を占める地域を指します。

ボランティア募集中!

「橋館」は全員ボランティアで運営しています。ぜひ、あなたも参加しませんか?開催直前まで毎週木・日に説明会開催中。詳しくは tachibanakan@gmail.com まで。

